



あなた方とともに、未来を拓く愛知教育大学へ

愛知教育大学は、刈谷市の北部、みよし市、豊明市、東郷町に隣接する丘陵地帯にある、在学生4,500人の「教員養成を軸に教養教育を重視する」教育に関する総合大学です。大学の淵源は、138年前の1873(明治8)年の愛知県養成学校で、1949(昭和24)年に創立された伝統と歴史に溢れる大学で、緑に囲まれた現在地に移転して41年になります。「教育大学」という名前の通り、教員養成課程での小学校や中学校の教員の養成が大学の大きな柱であり、同時に国際的教養と

基礎専門科目を重視する教育組織(現代学芸課程)もあります。2010年度卒業した学部生903人のうち、教員が544人、公務員や企業が197人、修士課程等への進学が78人となっており、このうち教員養成課程卒業生で、この4月から教壇に立った正規教員は345人で、教員就職者数・率とも全国で有数の高さを誇る大学です。卒業生の進路について詳しくは本大学案内77ページをご覧ください。大学では、今、理科や科学ものづくりの教育、外国人児童への学習支援、

小学校英語教育の強化、特別支援教育など現代的な教育課題に力を入れて取り組んでいます。また、学習教育環境の整備、クラブ活動の充実、40年以上の歴史を持つ「子どもまつり」や生協活動など学生の方々の自主的取り組みの支援などの充実も大学の重要な事業となっています。国立大学である愛知教育大学は、教育の機会均等を保障するためにはならない大学であると考えています。学生の方々の勉学を保障するための授業料免除制度や学生寮も充実しています。

きちんとした学問を身に付け、子どもたちに夢を与えることができる教員を目指す受験生の方々、未来を見据えこれからの夢を愛知教育大学での学びを通じて実現したいと願う受験生の方々、ルイ・アラゴンの詩集『フランスの起床ラッパ』(1945年)に収められている「ストラスブール大学の歌」の一節「教えるとは 希望を語ること 学ぶとは 誠実を胸にきざむこと」をあなた方に贈り、この緑いっぱいの刈谷のキャンパスで、あなた方との出会いが実現することを願っています。

学長 松田正久
MATSUDA Masahisa